

6/11(火) の発表

報道発表資料の配付日時

6/11(火) 15時00分

発表項目	(速報) 感染性胃腸炎患者の発生について (週報) 腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施場所)	発表者	
	月 日 () 時 分～	発表場所	
概 要	<p>○詳細については別紙のとおり</p> <p>◆速報 (感染性胃腸炎 (5類感染症) の集団発生について速報するもの)</p> <p>帯広保健所 保育所 14名 ロタ・・・別紙1</p> <p>◆週報 (腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について)</p> <p>江別、帯広、中標津保健所・・・別紙2</p>		
参 考			
報道 (取材) に当たっての お 願 い	<p>本公表は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第16条の規定に基づき、個人情報の保護に留意の上、感染症の発生状況等に関して必要な情報を公表するものです。</p> <p>つきましては、報道に当たって、個人のプライバシー等の保護のため特段のご配慮をお願いします。</p>		
他のクラブ との関係	同時配布	(場所)	
	同時レク	江別、帯広、中標津保健所	
担 当 (連絡先)	保健福祉部健康安全局地域保健課感染症・特定疾患グループ (担当:角)		
	電話	(代 表)	011-231-4111 (内線25-506)
		(ダイヤル)	011-204-5253

感染性胃腸炎患者等の発生について

令和元年（2019年）6月11日（火）15:00

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課

TEL: 011-231-4111（内線: 25-506）

FAX: 011-232-2013

令和元年（2019年）6月10日（月）、帯広保健所管内の保育所において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

記

1 発生の探知

令和元年（2019年）6月7日（金）に、帯広保健所管内の保育所から、複数の園児がおう吐、下痢、発熱症状を呈している旨、同保健所に通報があった。

2 発生の概要

帯広保健所管内の保育所の園児14名が、6月5日（水）から6月10日（月）にかけて、おう吐、下痢、発熱等の症状を呈し、うち11名が医療機関を受診し、治療を受け、2名が入院した。

3 現在の状況

6月11日（火）現在、症状は回復もしくは快方に向かっている。

入院していた2名のうち、1名は回復し既に退院、もう1名は入院中であるが、快方に向かっている。

4 経過

6月 5日（水）	～	6月10日（月）	おう吐、下痢、発熱等の有症者発生
6月 7日（金）			保育所から保健所に通報
6月 6日（木）	～	6月10日（月）	医療機関において、有症者4名の便を検査した結果、4名全員からロタウイルスを確認

5 感染経路

現在調査中

6 対応

帯広保健所では、当該保育所に対し、園児及び職員の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。

7 その他

この件については、本日15時00分、帯広保健所においても資料配付を行っています。報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。

ロタウイルスとは

ロタウイルスは、主として乳幼児に見られる急性胃腸炎の原因ウイルスである。ロタウイルスの人への感染は、ウイルスに汚染された飲食物を口にする事や、感染者との接触等による二次感染によって起こり、冬期から春期に集中して発生する。なお、成人でも感染が見られることがある。

主 症 状：下痢、吐き気、おう吐、腹痛、発熱

潜 伏 期 間：2～4日

経 過・予 後：通常1～2週間で回復

腸管出血性大腸菌感染症の発生について（週報）

令和元年（2019年）6月11日（火）15:00

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課

TEL 011-231-4111(内線:25-506)

FAX 011-232-2013

令和元年（2019年）第23週（6月3日（月）～6月9日（日））に、道立保健所管内で腸管出血性大腸菌感染症（ペロ毒素産生性）が発生したのでお知らせします。

記

1 発生の概要

保健所	区分	性別等	発症日 及び主な症状	受診日	保健所 受理日	現在の状況	備考
江別	患者 (O111)	男性 (20歳代)	5月29日(水) 下痢、腹痛 血便	6月1日 (土)	6月3日 (月)	入院中であるが、 症状は快方に向か っている。	—
帯広	患者 (O26)	男性 (幼児)	6月1日(土) 水溶性下痢、 血便	6月2日 (日)	6月7日 (金)	症状は快方に向か っている。(入院は していない。)	—
中標津	患者 (O157)	男性 (40歳代)	5月30日(木) 下痢、腹痛 嘔気	6月1日 (土)	6月4日 (火)	入院していたが症 状は快方に向かい、 既に退院した。	—

2 対応

- ・ 家族等の健康調査及び便検査
- ・ 患者及び家族等の喫食調査
- ・ 家庭等における手洗いの励行及び消毒等の清潔保持の指導

3 その他

この件については、本日15時00分、管轄保健所においても資料配付を行っています。
<報道に当たっては、個人のプライバシー保護のため、特段の御配慮をお願いします。>

〔参考〕 腸管出血性大腸菌感染者の道内における発生状況（2019年）

6月9日（日）現在

区分	1	8	25	26	74	91	103	111	115	121	128	136	145	146	148	157	165	不明	合計
患者				3		1	1	1								14			20
無症状病原体保有者				1	1	6	1	0			1					1		3	14
計				4	1	7	2	1			1					15		3	34

(単位：人)

*政令市（札幌市・函館市・小樽市・旭川市）及び本日発表分を含む。

*全道の発生状況については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。(http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html)